木谷小学校　コミュニティスクールだより　　令和６年 11 月１日発行　第 44 号

木谷の風

コミュニティ・スクール推進員　福田　みき

総合的な学習の時間からの学び！

【6 年生　松本煉瓦株式会社見学　10 月 31 日（木）】

午後１時に学校をスタートして吉名町の松本煉瓦株式会社に見学に行きました。

煉瓦ができる工程順に説明してくださいました。原料は愛知県や奈良県や山口県や岡山県の土や西条や地元吉名産の土もありました。赤色だけでなく，黄色やオレンジ色，まだら色や白色など色にこだわり，生き残るための工夫を真剣に語ってくださいました。なんと戦後全国で 200 件ほどあった煉瓦工場は，今２件となっていることに驚きを隠せませんでした。

その土を選別し，砕き，練り，成型していきます。色によってマグネシウムや二酸化マンガンや酸化鉄などを混入されることも知りました。柔らかい粘土を乾燥させるのに 60 度の中で４日間。焼き上げる温度は 600 度から 1200 度で 30 時間。窯に近寄ると熱風を感じました。焼きあがった粘土をたくさんの方が手作業で選別されていました。

多くの見本が展示されている所で，自分のお気に入りの煉瓦を決めて写真を撮りました。たくさんの発見のある探検でした。最後に，一人一人に素敵な煉瓦をプレゼントしてくださいました。ここでも大変お世話になりました。ありがとうございました。

成型したての煉瓦を児童たちに触らせてくださいました。粘りがあってポロッと壊れました。

社長さんが「当時重要な建物は煉瓦造りでした。例えば，東京駅，網走の刑務所，レンガ通りなどです。劣化もしていきますが，使うことで味がでてきます。多色のある煉瓦・火事に強い煉瓦を知っておいてください。」と言われました。煉瓦に思いをはせてほしいです。ちなみに木谷小学校は煉瓦がたくさん使われています。美しいです。